

調査の進め方

- 1 この調査は、当面の設計や調達に直接役立てていただくため、毎年実施しているものです。従って、通常使用される樹種・規格については極力多くのを調査対象とし、需要・供給の動向に応じて、毎年、樹種・規格等の見直しを行っております。
- 2 本書は、令和元年7月に調査を行い、その結果をもとにして今秋から来春にかけての供給可能量と調達難易度を判定し、(一財)日本緑化センターの監修のもとに取りまとめたものです。
- 3 調査対象は全国41都道府県です。
(青森、富山、石川、山口、長崎、沖縄を除いてあります)
- 4 調査対象の樹种群別樹種数は次のとおりです。

樹种群	樹種数
露地栽培	
針葉樹	51
常緑高木	65
落葉高木	110
常緑低木	50
落葉低木	46
竹笹類	13
草本	2
落葉つる性類 (フジ/ノダフジ)	1
ヤシ類	7
露地栽培小計	345

コンテナ栽培	
針葉樹	47
常緑高木	58
落葉高木	75
常緑低木	83
落葉低木	60
竹笹類	9
草本	120
常緑つる性	35
半常緑つる性	1
落葉つる性	12
球根	11
コンテナ栽培小計	511